

故ナリト雖モ、多半ノ同志ヲ網羅スルハ固シク、我々等ノモテ
 アタル。同好員會ハ謝重審議ノ結果、官業等ノ人等ノ申出
 マカセズ、本報主上ハ二十日迄ノ聯合會ニ出席スルハ、
 山中萬壽林ヲ延置スル。然レモ、我々等ニ對シテハ、
 テ、今一週以符ヲ封スル。其由支那方面ニシテ、
 申出テモ、本報ニ對シテ、
 冷譽ノ意ニ添テ、
 謝々、或將彈劾書ニ出ケルニ就テハ、
 好員會ハ、
 語々々々、
 言葉詰ム。即ち、
 スル。

財團法人協同會大阪支所

21.26
8.8

モ、本人ガ飽ク迄反省セザルニ於テハ、本會名譽ノ爲ニハ致
 シ方ナシト遂ニ除名處分ニ附シタノデアル。
 除名ノ理由ハ以上略記ノ通りデアルガ、終リニ臨ンデ組合
 員諸君ニ御願ヒヌル、本會ハ豫報ノ通り來ル十一月三日中央
 公會堂ニ於テ十週年記念大會ヲ盛大ニ舉行スルノデアル。即
 チ本會ハ光輝アル十年ノ歴史ヲ有スルノデアル。諸君ハ猶將
 來ニ於テモ、^{維新}然トシテ輝ク本會旗ヲ守ル事ニ全力ヲ盡シテイ
 タリカネバナラヌ。而シテ立憲的ニ飽ク迄決議ヲ尊重シ、一
 糸亂レザル統制ヲ^{維持}スルノ模範的態度ヲ永久ニ持續セラレン
 事ヲ吳レ吳レモ熱望シテ止マナイ。